

信濃美術館各室の主な利活用方法、仕様 (事務局中間とりまとめ)

長野県 県民文化部 信濃美術館整備室
建設部 施設課

展示部門 2,250㎡ 【2,300㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
コレクション展示室 (収蔵品の常設展示)	500	●日本画、洋画、版画、彫刻、工芸作品等の小品を中心に展示 重要文化財の展示	●外光、外気が直接入らない構造 ●温湿度の管理 (24時間、各室独立して稼働) 温度 24℃±2℃(夏期) 22℃±2℃(冬季) 湿度 55%RH±5%RH ●LED照明(色温度変更可能) ●ガス系消火設備
共用展示室	500	●企画展示や国宝・重要文化財の展示	
企画展示室	1,000	●展示環境基準が厳しい海外からの借用作品を展示 ●大型の現代美術も展示	

収蔵部門 1,850㎡ 【2,200㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
収蔵庫	1,100	●作品分類ごとに収納(①日本画・版画・工芸、②額物(洋画、日本画)、③大型美術品(彫刻、現代美術))	●防犯性能の確保(堅牢な壁・金庫扉) ●耐火性能:2時間耐火の金庫扉、区画にダンパーを設置 ●外部環境の影響を受けない

教育普及部門 1,330㎡ 【1,300㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
県民ギャラリー (貸スペース)	500	●県民の個展やグループ展など美術を主とした作品発表の場	●一般仕様
多目的ホール (貸スペース)	300	●美術に関する講演会や・シンポジウム等を行う ●作品展示可	●講演、講習に使用できる舞台装置(照明、音響、映像)を備える
ワークショップルーム	100	●制作体験の拠点	●様々な形態で利用可能
オープン・ギャラリー	100	●美術館が招へいした作家の公開制作の場所、制作過程の展示	●見える化による出会い、活動の誘発(ガラスウォール)
レセプション・ルーム	150	●美術館(来客者含む)の各種会議・レセプション	●内装は上級仕上げ ●音響、映像装置
こどもの広場	50	●こどもが美術館に親しむ	●子どもにとっての快適さに配慮

調査研究部門 350㎡ 【300㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
アート・ライブラリー	175	●美術に関する図書等の情報検索、閲覧および調査研究	●外部から検索可能な書籍管理

サービス部門 935㎡ 【900㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
カフェ	200	●検討中 [外部委託の方向 県産食材の活用を模索]	●フリースペースとする(外から直接入れるイメージ)
エントランスロビー	715	●展覧会の開会式などの式典やイベント、団体への説明 ●県内美術館の情報提供	●デジタルサイネージを設置

管理・共用部門 3,285㎡ (事務室、機械室等) 【3,000㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
特別応接室	60	●著名な芸術家などVIPをもてなす部屋、行幸啓での利用も想定	●皇室の利用を念頭においたづくり

面積合計 10,000㎡ 【10,000㎡】 【 】内は基本構想の面積